

## 事業の概況

### 事業の経過

創業7期目にあたる当期は、ヤフー株式会社、株式会社三井住友銀行との3社による戦略的業務・資本提携の具体化に注力したほか、ローン・預金の商品性の見直し、外国為替保証金取引（JNB-FX）の機能拡充など、商品・サービスの改善に努めました。

セキュリティへの取組みとしては、トークン式のワンタイムパスワードの配布を開始し、既存のお客さまへの配布を完了いたしました。

経営体制につきましては、第三者割当増資の実施により財務体力を強化したほか、営業・マーケティング力の強化、利用者保護や法令遵守体制の強化等を目的とする組織改正を実施いたしました。

### ■ ヤフーとの戦略的提携

2006年3月に締結した「提携に関する基本合意」に基づき、2006年6月にヤフー株式会社、株式会社三井住友銀行と業務提携に関する基本契約を締結しました。業務提携の第1弾として、2006年9月より、「Yahoo! JAPAN ID」と当社の口座を連動させ、Yahoo! JAPANを安心・安全・便利に利用可能にする「Yahoo!ネットバンキング」の公開を開始しました。2006年11月には、Yahoo!オークションでの決済が便利かつ安全に行える「オークション出納帳」を開始しました。

### ■ 商品・サービスの改善

ローン商品につきましては、2007年1月には、極度型ローンの商品性を見直し、初回の借入れの際、30日間無利息とする特約を開始しました。2007年2月には、従来比低金利となる目的型ローンの販売を開始しました。

預金商品につきましては、2006年11月には、長期運用ニーズに応えるため、預入期間5年、7年、10年の定期預金の取扱を開始しました。2007年3月には、普通預金に、残高に応じて異なる預金金利を適用する「残高階層別金利」を導入しました。

2006年3月に開始した外国為替保証金取引（JNB-FX）につきましては、レバレッジ選択注文機能やスワップポイント振替機能等、お客さまが便利かつ安心してご利用になれる機能を追加しました。

### ■ 市場運用

市場運用につきましては、日本銀行の金融政策変更を見据えて、金利上昇に耐えうる資産負債の構築と収益力の向上に注力しました。

債券ポートフォリオのデュレーションを短期化する一方、市場調達の削減に努めました。投資信託への投資を増加させるなど、リスクの分散及び収益積上げを図りました。

昨年度末に評価損失が拡大した変動利付国債につきましては、第1四半期に評価損失の追加処理を実施し、売却損を計上しました。2007年3月末残高は、126億円となっています。